

日本語と英語のオノマトペ
Japanese and English Onomatopoeia

トレント・ボン・リンデンバーグ
Trento von Lindenberg

82-373: Structure of the Japanese Language

1. はじめに

英語について、オノマトペは特に少ない。「Pow」と「bang」と「smash」、そういう物は英語のオノマトペ。英語のオノマトペは「！」と似ている。特別意味がない、そして普通の話しか使わない。でも、日本語では、オノマトペがもっと使う。ペラペラとか、シーンとか、その物には、意味がある。その日英語の違う点は特に面白いと思う。

このプロジェクトはまだ新しいだから、特定の資料がない。でも、今の考え方は、漫画とライトノベルとアニメと先生の経験を使う。そして、英語の資料は、多分、アメリカのコミックスとテレビから取る。

2. 日本語と英語のオノマトペはどう動違う？

2. 1. データ

A. 「グルグル回るグルグル回る\フラフラなフリしてあなたの胸に飛び込みたい。。。 \フワフワに浮かぶ私今日も一人雲の上」

“Spinning and turning, spinning and turning, while pretending to be dizzy I want to jump into your chest... I’m floating lightly, above the clouds, alone again today.”

School Rumble (Anime), Opening Song: Scramble

www.animelyrics.com/anime/schoolrumble/srsukuranburu.htm

B.

Laughter has different words for different nuances

(www.tofugu.com/japanese/japanese-onomatopoeia)

笑う

ニコニコ笑う

ゲラゲラ笑う

くすくす笑う

C. アメリカのコミックスのオノマトペ

2. 2. 日英語の違いを説明する

この前の例を見る時に、面白い点を分かる。一つ目は、日本語のオノマトペは繰り返し音だ。例えば、1例は「グルグル」を使う。その「ぐる」が繰り返した。「ふふ」も「ぶぶ」も、たくさんのオノマトペが繰り返し音だ。でも、英語のオノマトペは一つ音だけ。

二つ目は、日本語のオノマトペがもっと意味を持っている。特に、擬態語と擬声語は、そうだ。擬声語は、人々と動物の音、そして擬態語は「mimetic」の音だ。

「mimetic」の音は前に書いた「意味が多い」オノマトペだ。その「mimetic」のオノマトペが状況を説明する。そう言うオノマトペは、英語にないけど、日本語には多い。そのオノマトペがもっと「intrinsic meaning」を持っている。

三つ目は、日本語のオノマトペには、もっとニュアンスがあるから、オノマトペが言葉の意味をちょっと変わっているのために使用する。例えば、英語には、「to laugh」と「to snicker」は二つの異なる言葉だけど、日本語が「オノマトペ+笑う」を使う。例えば、「to snicker」は「くすくす笑う」だ。

2. 3. 日英語の文化的見方の違い

どうしてこの違いがあるか。その理由は、日本語は状況に焦点を当てるが、英語は人間に焦点を当てる。だから、日本語のオノマトペが様々な状況を記述するために使用される。そして、英語が人間の音だけ興味があるから、英語のオノマトペは人間の音だけだ。

最後に、この前のセクションで、「日本語のオノマトペは繰り返し音だ」と書いた。その理由は言語の中に見つかる。日本語では、その繰り返し音は普通だ。例えば、「時々」とか、「様々な」とか、「色々な」の言葉が繰り返し音だ。それは、畳語だ。でも、英語には、そのルールがないから、英語のオノマトペは一つの音だけだ。

3. おわりに

英語と日本語の違いは、英語のオノマトペについては、意味がない。でも、日本語のオノマトペについては、意味をたくさん持っている。例えば、英語では、「POW」は音だけだ。その音は、何か壊れた音とか、誰かがパンチをする音だ。でも、日本語の場合、オノマトペはアイデアも意味もある。例えば、ペラペラは「流暢」の意味がある。だから、日本語のオノマトペは、普通の言葉みたいだと思ふ。

データの出典

Japanese Onomatopoeia: www.tofugu.com/japanese/japanese-onomatopoeia

Onomatopoeia/SFX Reference Source: thejadednetwork.com/sfx

Yamada 1997 – 日英語を比べて見れば – Chapter 7